



No.1 in Quality

**2020年3月期
決算説明会資料**

株式会社テリロジー



Securities code : 3356

2020年3月期実績

業績ハイライト	4
損益計算書	5
貸借対照表（純資産の部）	6
セグメント別の売上高推移	7

事業部門別実績

ネットワーク部門	8
セキュリティ部門	9
モニタリング部門	10
ソリューションサービス部門	11

2021年3月期の取り組み

2021年3月期の取り組み	13
2021年3月期 業績予想	19

2021年3月期 ビジネス・アウトルック

2021年3月期 ビジネス・アウトルック	21
（ご参考）売上高・営業利益の推移	27

2020年3月期 業績

対前年同期比で増収増益。黒字体質が定着。

売上・受注 ・受注活動は堅調に推移したことから**売上高**は**増加**

売上高：4,051百万円（10.7%増 391百万円増）
受注高：3,988百万円（7.7%増 283百万円増）
受注残高：301百万円（17.2%減 62百万円減）（対前年比）

利益 ・増収効果により**各利益**は**増加**。**黒字化**が**定着**

経費：販管費等※：1,564百万円（8.2%増 118百万円増）
・増加要因：人件費、株主増加に伴う管理費、製品開発費の償却費
※売上原価「技術人件費」含む
営業利益：263百万円（19百万円増 前期 244百万円）
経常利益：288百万円（58百万円増 前期 229百万円）
当期純利益：214百万円（7百万円増 前期 207百万円）（対前年比）

財務 ・自己資本比率は前期末から**8.9pt**向上し**改善**

自己資本比率：2020年3月期 53.9%（2019年3月期 45.0%）
（ご参考）自己資本：2,265百万円（827百万円増 2019年3月期 1,438百万円）

配当 ・2006年3月期以来、**14期**ぶり**復配**へ

年間配当金：5円00銭（配当性向 38.4%）

損益計算書

- 受注活動は堅調に推移したことから**売上高は増加**
- 増収効果により**各利益は増加**。**黒字化が定着**

(単位：百万円)	2019年3月期		2020年3月期	
	金額	金額	増減額	増減率%
売上高	3,660	4,051	391	10.7%
売上総利益	1,403	1,513	109	7.8%
販売管理費	1,159	1,249	90	7.8%
営業利益	244	263	19	8.0%
経常利益	229	288	58	25.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	207	214	7	3.5%
為替レート (ドル)	110.91円	108.75円		
1株当たり当期純利益	13円45銭	13円03銭		
年間配当金	0円00銭	5円00銭		
配当性向 (連結)	—	38.4%		
自己資本比率	45.0%	53.9%	8.9pt	

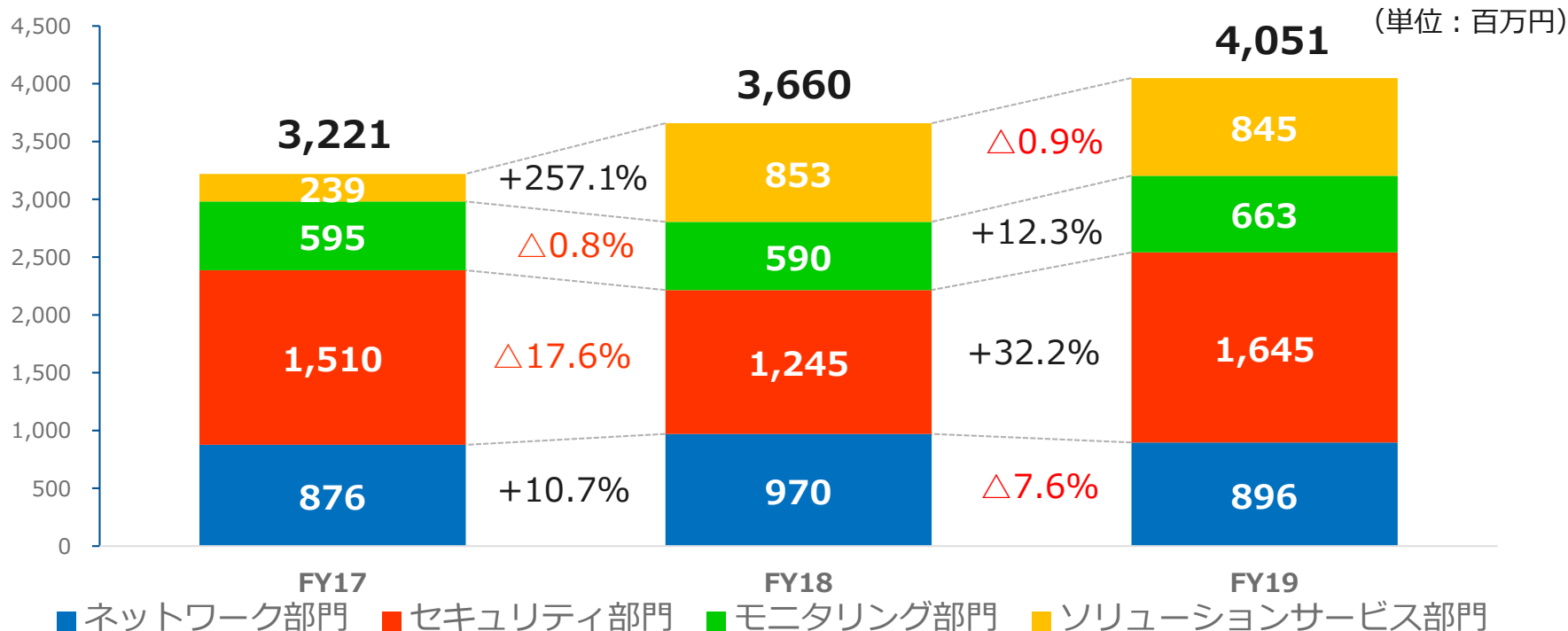
貸借対照表（純資産の部）

●増資効果により**財務体質が改善**

■貸借対照表（純資産の部）

（単位：千円）	2019年3月期	2020年3月期
資本金	1,273,921	1,581,306
資本剰余金	724,752	414,158
利益剰余金	△ 565,349	267,322
自己株式	△ 36	△ 67
株主資本合計	1,433,288	1,581,306
繰延ヘッジ損益	5,516	3,111
その他の包括利益 累計額合計	5,516	3,111
新株予約権	2,354	3,394
純資産合計	1,441,160	2,269,225

セグメント別の売上高推移



セグメント	FY17	FY18	FY19
ネットワーク部門	876	970	896
セキュリティ部門	1,510	1,245	1,645
モニタリング部門	595	590	663
ソリューションサービス部門	239	853	845
集計	3,221	3,660	4,051

※FY17のソリューションサービス部門の売上高は4カ月のみ

事業部門別実績 ネットワーク部門

国内大手製造業を中心のネットワークインフラ構築案件
受注活動に努めるが大型案件の一巡で売上高は減少

減少

売上高：896百万円

対前年同期比：73百万円減、増減率：7.6%減

■トピックス

- ・ 当社グループ主要顧客大手製造業に向けた業務系ネットワーク/
制御系ネットワーク（IT/OT）の統合ネットワーク基盤整備
 - ▶ ユーザ管理システム（DHCPサーバなど）構築案件
 - ▶ IPアドレス管理（IPAM）案件
 - ▶ セキュアなクラウド型無線LANシステム構築案件（国内拠点展開向け）

■前年同期比との差異理由

大手企業向けなどの大型案件が一巡したことによる売上高の減少

事業部門別実績 セキュリティ部門

サイバー攻撃/不正アクセス増加によりネットワークセキュリティ案件、
サイバースレットインテリジェンスサービスは堅調に推移

増収

売上高：1,645百万円
対前年同期比：400百万円増、増減率：32.2%増

■トピックス

- ・サイバー攻撃/不正アクセス対策のネットワークセキュリティ
 - ▶ ネットワーク不正侵入防御セキュリティ：中央官庁、国内大手モバイルキャリア、国内企業
 - ▶ インターネットバンキング向け不正取引防止対策：国内大手金融機関
 - ▶ 企業内ネットワーク脆弱性診断サービス：大手ケーブルテレビ、国内企業
- ・セキュリティリスクを分析する工場/ビル管理向け制御システム・OTセキュリティリスクアセスメントサービス
 - ▶ 国内重要インフラ企業、国内大手製造業工場
- ・サイバー攻撃リスク増加によりサイバー犯罪、サイバーテロ等に関する情報を収集分析するサービス（サイバースレットインテリジェンスサービス）
 - ▶ 官公庁、社会インフラ企業、金融機関、国内企業
- ・サプライチェーンやグループ企業のサイバーリスクを可視化するリスクスコアサービス立ち上がり堅調

事業部門別実績 モニタリング部門

当社が得意とするネットワークモニタリング分野に注力した
受注活動は概ね堅調に推移

増収

売上高：663百万円
対前年同期比：72百万円増、増減率：12.3%増

■トピックス

- ・ 当社グループ独自のポケットキャプチャ製品採用のネットワークモニタリング案件
 - ▶ 国内大手モバイルキャリア、国内金融機関、国内大手製造業など
- ・ ネットワーク性能管理製品採用のパフォーマンスモニタリング案件
 - ▶ メガキャリア向けSD-WANパフォーマンスモニタリング装置
 - ▶ 国内インターネットバンキング向けネットワークの可視化
 - ▶ 生命保険企業向けネットワークの可視化
- ・ 独自サービスのITシステム運用監視クラウドサービス
 - ▶ 当社グループの主要顧客を中心に受注活動は堅調に推移

新型コロナウイルスの影響で訪日外国人旅行客は減少するが、
在留外国人対応に「みえる通訳」の需要が増加

横ばい

売上高：845百万円

対前年同期比：8百万円減、増減率：0.9%減

■トピックス

- ・ 多言語通訳サービス「みえる通訳」の導入拡大
 - ▶ 新型コロナウイルス感染拡大の影響で訪日外国人旅行者は減少するが、自治体、金融機関、医療機関では在留外国人対応に「みえる通訳」の需要が増加
- ・ 法人向けクラウド管理型マネージドVPNサービス
 - ▶ 新規案件の獲得などにより堅調に推移（UTM/セキュアSW/簡易SoC）
- ・ Zoomなどのビデオ会議/Web会議などの遠隔会議サービス
 - ▶ ビデオ会議、モビリティ対応の新商品サービスラインナップ強化に努めたことで、新型コロナウイルスの感染防止対策の一つとして、人事・営業部門、医療機関、研究機関、教育機関（大学、学習塾等）からの引き合いが増加
- ・ 自社開発の究極的にカンタンなRPAツール「EzAvater」
 - ▶ 生産性の向上、業務の効率化など働き方改革を背景に販売代理店網の拡大強化

2021年3月期の取り組み


新型コロナウイルス感染拡大によるマーケットの変化に対応

新型コロナウイルス感染症の拡大防止が強く求められる中、テレワークや在宅勤務、時差出勤等の励行により事業継続の観点から働き方の抜本的な見直しが求められている。

お客様の事業継続を支援するためのテレワーク環境を提供



ネットワーク
基盤構築



テレワーキング/
ホームワーキング・
セキュリティ



ビデオ会議/
Web会議

- ✓ 在宅、テレワーク環境からの社内システム、ファイルサーバへのアクセス対策
- ✓ テレワーキング/ホームワーキング・セキュリティ
 - ・顧客の個人情報や機密情報の漏えい等を防ぐセキュリティ対策
- ✓ オンライン会議の普及により需要が増加中のビデオ会議/Web会議

2021年3月期の取り組み

世の中の動きに合わせて事業活動を展開

社会生活・経済活動に向けたサイバーセキュリティ対策

- ✓ **社会生活や経済活動のIT依存度の高まりによるサイバー攻撃リスクが増加**
 - ・サイバー空間の脅威に対処する「サイバーセキュリティ対策」の強化へ
- ✓ **OT/ITのネットワーク接続によりIoT機器、産業用制御システムへの攻撃増加**
 - ・サイバー攻撃のターゲットは重要インフラ、製造業、プラント、ビルへ

猛威を振るう新型コロナウイルス対策

- ✓ **テレワークで注目のビデオ会議サービス「Zoom」**
 - ・Zoom+各種ソリューションの付加価値サービスへ展開

在留外国人に向けた新型コロナウイルス対応の外国語通訳支援

- ✓ **在留外国人対応に多言語通訳サービス「みえる通訳」の需要増加**
 - ・ダイバーシティ（多様性・多様化）、多国籍化、定住化による支援策の拡充

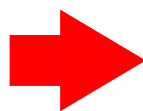
社会生活・経済活動に向けたサイバーセキュリティ対策

社会生活や経済活動のIT依存度の高まりによるサイバー攻撃リスクが増加

- ✓ 今年開催の東京オリンピック・パラリンピックは2021年開催予定に変更
 - ▶ 東京オリンピック・パラリンピックに関連した案件は前期に導入済み
- ✓ サイバー空間の脅威に対処する「サイバーセキュリティ対策」の強化へ



サイバー
攻撃



●重要インフラ14分野

- ・情報通信
- ・金融
- ・航空
- ・空港
- ・鉄道
- ・電気
- ・ガス
- ・水道
- ・政府
- ・行政サービス
- ・医療
- ・物流
- ・化学
- ・クレジット
- ・石油

■テリロジーが提供するセキュリティソリューション

ダークウェブの監視/
脅威情報の検知



スレットインテリジェンスサービス（脅威情報対策）

ネットワークの脆弱性診断



ネットワークセキュリティ分析

モニタリング/ログ解析



産業制御システム（ICS）監視

社会生活・経済活動に向けたサイバーセキュリティ対策

OTとITのネットワーク接続によりIoT機器、産業用制御システムへの攻撃増加

- ✓ 電力会社などの社会インフラ企業へは導入済み
- ✓ ビルシステムに向けたサイバー・フィジカル・セキュリティ対策
 - ▶ 具体的なユーザが見えてきた。今後は導入に向けたトライアルの実施へ

■サイバー攻撃のターゲットは重要インフラ、製造業、プラント、ビルへ

電気・ガス・水道・鉄道・交通・その他重要インフラ、製造・プラント・ビル・などの制御システム、暮らしで身近に利用されているコントロールシステムなど、これまでもセキュリティ対策が気にされていましたが、これからは、制御システム、OT/IoTへのセキュリティ対策が求められています。

■テリロジーが提供するセキュリティソリューション

ステルスネットワーク

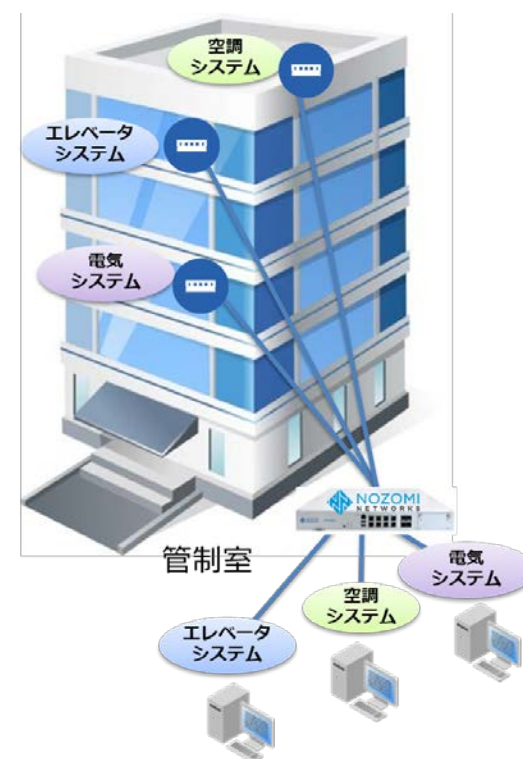


HIPスイッチ（暗号化通信HIPプロトコル）

モニタリング／ログ解析



産業制御システム（ICS）監視



猛威を振るう新型コロナウイルス対策

テレワークで注目のビデオ会議サービス「Zoom」



- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大の予防対策としてリモートワークや在宅勤務の導入でビデオ会議が注目
 - ▶ リモートワークや在宅勤務の普及により働き方改革が加速
- ✓ Zoom+各種ソリューション（SumoLogic等）の付加価値サービスへ展開
- ✓ 海外拠点や海外取引先との商談での「みえる通訳」と連携した遠隔通訳サービス

■ Zoomのさまざまな利用シーン



多拠点会議

遠隔地の会議体同士を接続。移動の時間・コストの削減に貢献します。



チームミーティング

メンバーがそれぞれ自席からアクセスすることで、会議室を確保しなくてもタイムリーな情報共有がはかれます。



テレワーク

低帯域でもスムーズで安定した通信が望めるので、場所を問わず深いコミュニケーションが可能です。



インサイドセールス

クライアントとの打合せも遠隔で。映像・音声のやり取りはもちろん、画面共有ツールとしても活躍します。



遠隔通訳サービス

海外拠点や海外との取引先との会議や商談に、通訳オペレーターが通訳スタッフとして参加することで、参加者間の通訳が可能です。



オンラインセミナー

最大10,000端末までにリアルタイムな情報発信が行えます。居ながらにして参加できますので、聴講者の時間拘束を最小限に抑えた講義が可能です。

2021年3月期の取り組み

在留外国人に向けた新型コロナウイルス対応の外国語通訳支援

在留外国人対応に多言語通訳サービス「みえる通訳」の需要増加



- ✓ 在留外国人は、アジア国籍を中心に7年連続増加
- ✓ 自治体、医療機関は、ダイバーシティ（多様性・多様化）、多国籍化、定住化による支援策の拡充に「みえる通訳」の採用が増加

■ 「みえる通訳」導入実績

- ✓ 自治体：品川市役所、飯塚市役所、福生市役所、宮古島市役所、つくば市役所、読谷村など
- ✓ 金融機関：横浜銀行（全店導入）
- ✓ 医療機関：長崎港停泊中大型クルーズ船乗組員医療機関
（無償提供）
- ✓ ドラッグストア：トモズ、大賀薬局（福岡県）、ココカラファイン



「みえる通訳」の通訳コールセンターは、英・中・韓・タイ・ロシア・ポルトガル・スペイン・ベトナム・フランス・タガログ・インドネシア・ネパール・ヒンディーの13言語で24時間365日対応（一部言語を除く）しています。

2021年3月期 業績予想

(単位：百万円)	2020年3月期 実績		2021年3月期 予想	
	金額	金額	増減額	増減率%
売上高	4,051	4,180	129	3.2%
売上総利益	1,513	1,521	8	0.5%
販売管理費	1,249	1,321	72	5.8%
営業利益	263	200	△63	△24.2%
経常利益	288	200	△88	△30.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	214	140	△74	△34.8%
為替レート（ドル）	108.75円	115.00円		
1株当たり当期純利益	13円03銭	8円44銭		
年間配当金	5円00銭	5円00銭		
配当性向（連結）	38.4%	59.2%		

2021年3月期 ビジネス・アウトルック

売上高**50億円**を突破するための エクストラ事業戦略

1 M&A・事業アライアンス戦略の積極対応による事業拡大

2 インバウンド・ソリューション事業の協業の加速化

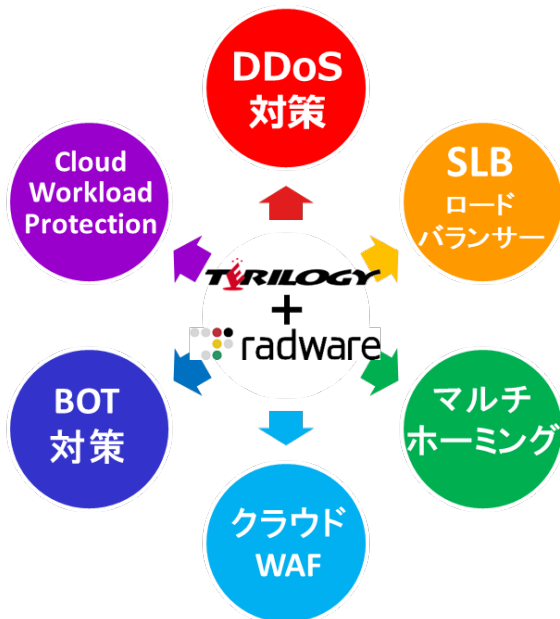
3 先端技術ソーシング連携戦略の強化（米国、イスラエル他）
による新商材の追加市場投入

M&A・事業アライアンス戦略の積極対応による事業拡大

ネットワーク事業に加えセキュリティ事業へ 戦略的代理店契約によるRadware事業スタート



昨今、アプリケーションに対する攻撃やボット攻撃、クラウド上の資産に対するセキュリティ脅威など、多種多様な脅威が潜んでおり、新たな脅威が続々と登場。
テリロジーは、ネットワークセキュリティ対策強化に、Radwareアプリケーションデリバリーコントローラー、アプリケーション&ネットワークセキュリティ・プロダクトを提供。



1. ロードバランサーの**Alteon**や回線分散機能を提供する**LinkProof**など、豊富な機能と柔軟な提供形態を持つ**ADC** (Application Delivery Controller) の提供
2. **DDoS対策、WAF、Bot Manager**をオンプレ、クラウドで提供
3. **リアルタイムシグネチャ生成**により**ゼロデイ攻撃を防御** (DDoS対策ソリューション)
4. **OWASP Top 10**の脅威をフルカバーし、マシンラーニングによる**自動セキュリティポリシー生成**により大幅に**運用負荷を軽減** (WAFソリューション)

- Radware Ltd. (NASDAQ:RDWR)
- 会社設立: 1997年
- CEO: Roy Zisapel
- 年商: \$252M/当期純利益: \$22M
- 従業員: 約1,000名

M&A・事業アライアンス戦略の積極対応による事業拡大

経済成長著しいベトナム市場へ
合弁事業会社VNCS Global Solution Technology社を設立



Hanoi Telecom Corporation

- BB通信事業者
- 売上高：\$ 130M



- 新興セキュリティ・ディストリビューター
- V S A C 議長 (VNISA 主要8社)
- 従業員：約40名
- Splunk/Tenable/Forescout/WatchGuard等代理店権(9社)

新設合弁事業会社



- 2020年4月営業開始
- センキュリティソリューション&サービス提供、構築・販売 (ベトナム進出日系企業)
- SoC (64省) /MSSPサービス提供・販売
- 官庁・文教・大手企業向けセキュリティ教育セミナー
- HTCグループ商流・促進(日本市場含む)



- 新株引受 (Cash Investment)
- (非) 取締役、(非) 監査役の派遣
- 持分連結対象海外子会社
- ビジネスナレッジの提供
- ベトナムにおける商権アレンジ
 - ✓ 商品
 - ✓ 顧客 (日系企業)

- 2017年1月 サイバー情報保護法 (個人情報保護) 施行
- 2019年1月 サイバーセキュリティ法施行
- 2019年6月 首相令14/2019/CT-TTg サイバーセキュリティ強化へ、グエン・スアン・フック首相が指示



インバウンド・ソリューション事業の協業の加速化

テリロジーサービスウェアがIGLOOO（イグルー）社の株式取得 インバウンド・メディア事業へ

■ IGLOOO社会概要

- 株式会社IGLOOO（イグルー）
- 代表取締役：小林 令
- 会社設立：2015年12月
- 事業内容：海外向けインターネットメディア運営
事業
海外向けコンテンツ制作及びプロモーション事業

■ 目的

- **インバウンド事業に関するバリューチェーン構築**
 - ✓ 旅マエ・旅ナカ・旅アトのビジネスシーンをカバー
自治体アカウントの獲得
 - ✓ 観光立国日本を代表する観光地を市場としてカバー
 - ✓ IGLOOO顧客への「みえる通訳」のアップセル可能
- **観光庁のインバウンド補助金・予算の取り込み事業
を自治体とジョイントして企画化・ビジネス化する
機会にする**
 - ✓ 本年度補正予算37億円活用に関する自治体
商工観光課、観光誘致課等の窓口部署とのタイアップ
企画（地域おこし事業）

■ 自社メディア「VOYAPON」



外国人目線で、取材、体験を元にレポート記事を作成致します。英語圏・フランス語圏・スペイン語圏・ドイツ語圏出身のライターをそれぞれ招聘。取材した記事は、訪日インバウンド観光メディア・VOYAPON上に公開。



インバウンド・ソリューション事業の協業の加速化

テリロジーサービスウェアがIGLOOO（イグルー）社の株式取得
インバウンド・メディア事業へ

■バリューチェーン（旅マエ・旅ナカ・旅アト）

旅マエ

- ① 自治体観光誘致、集客
プロモーション
- ② 自治体向けみえる通訳
アップセル
- ③ 観光地店舗向けみえる
通訳販促

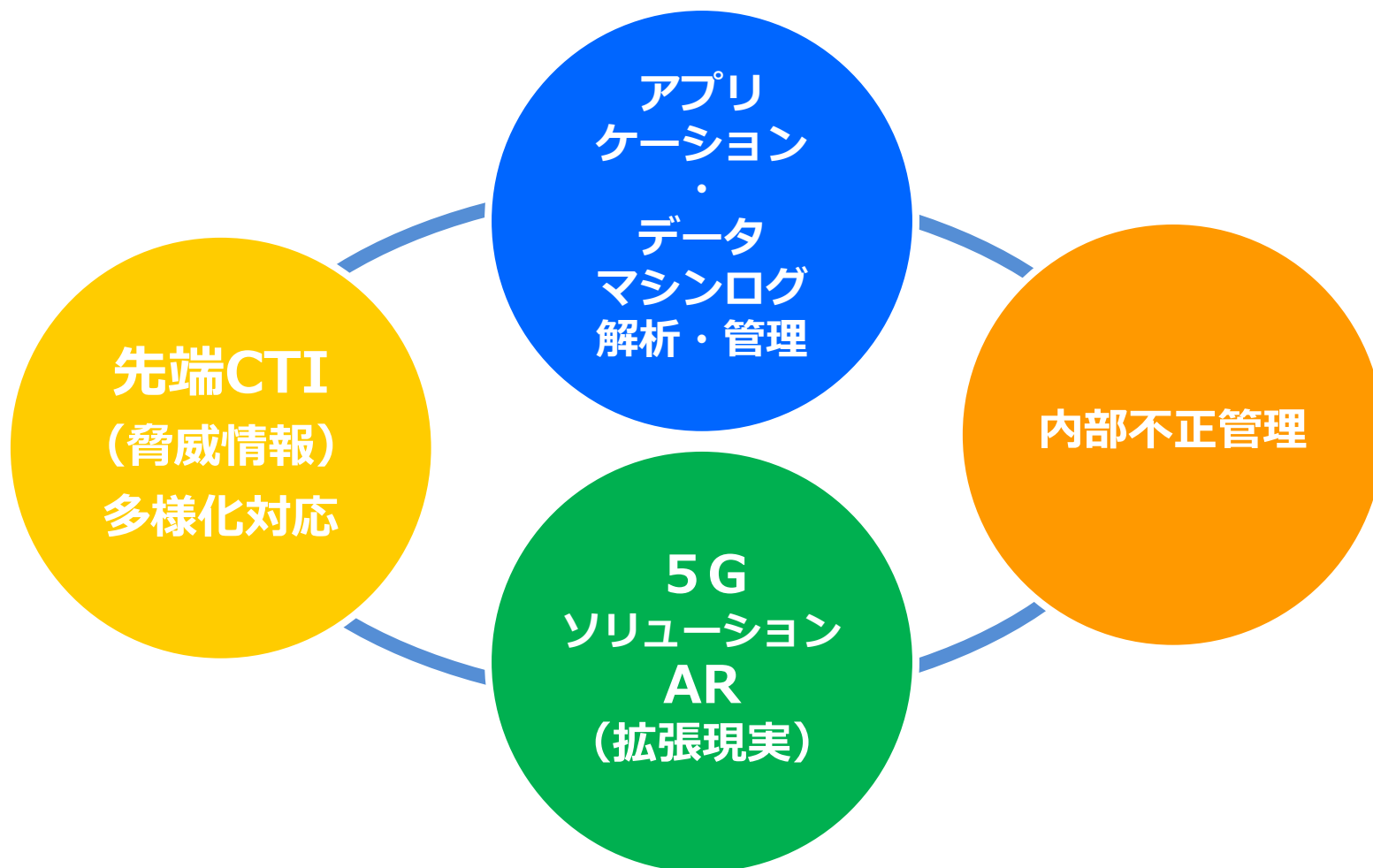
旅ナカ

- ① 店舗向けみえる通訳販売
- ② 旅ナカ・訪日客による
発信支援

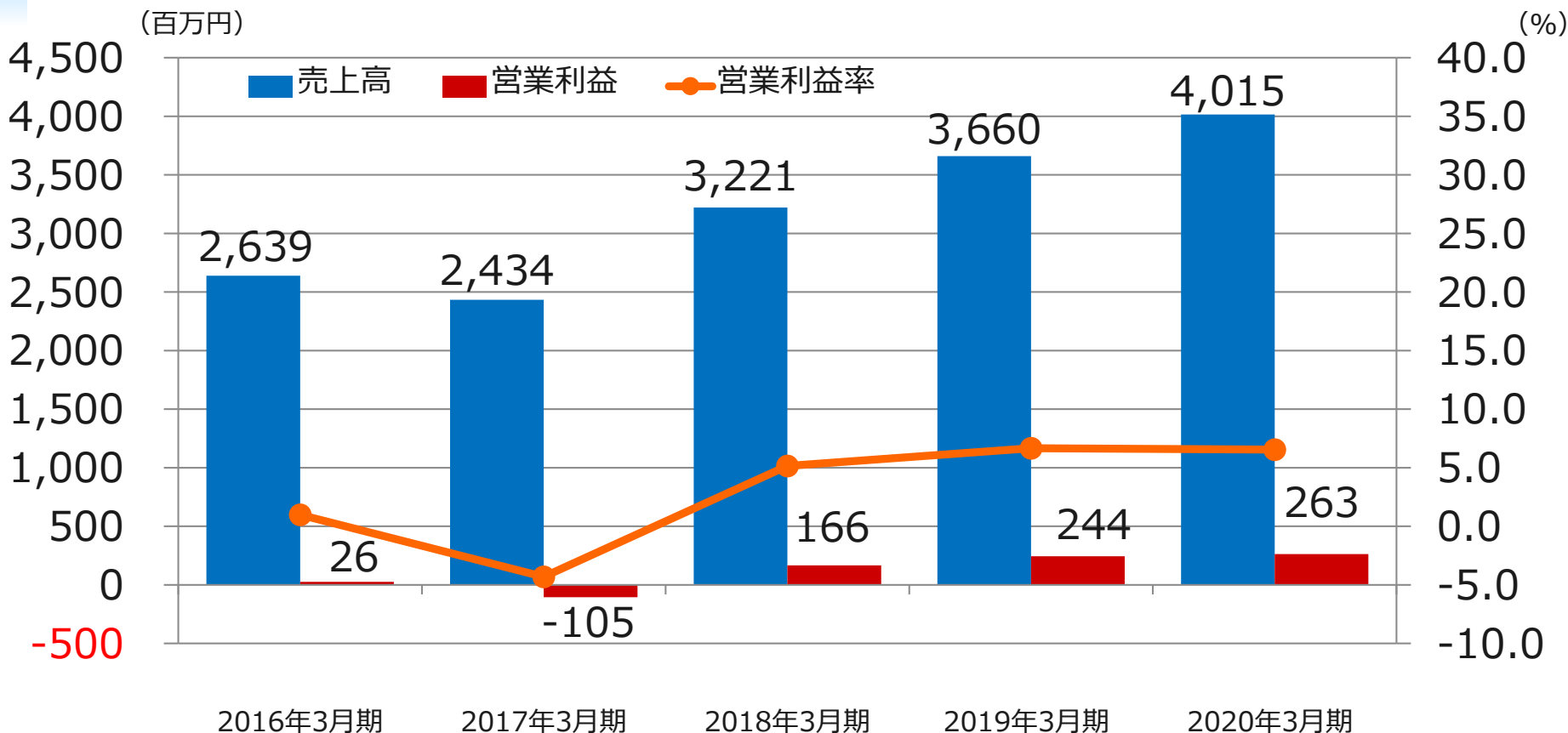
旅アト

- ① 観光客口コミニュース
配信
- ② 見える通訳ユーザー訪問
口コミによる集客
プロモーション
- ③ 自治体・店舗（みえる通
訳ユーザー）
フォローアップビジネス

先端技術ソーシング連携戦略の強化（米国、イスラエル他） による新商材の追加市場投入



ご参考 売上高・営業利益の推移（最近5カ年）



決算期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期
売上高	2,639百万円	2,434百万円	3,221百万円	3,660百万円	4,015百万円
営業利益	26百万円	△105百万円	166百万円	244百万円	263百万円
営業利益率	1.0%	-4.3%	5.1%	6.6%	6.5%



株式会社テリロジーは2019年7月14日をもちまして設立30周年を迎えました。弊社が30周年を迎えることができたのも、ひとえに皆様のお力添えのお蔭です。心より感謝御礼申し上げます。

これからもテリロジーは、次の20年、30年に向けて邁進してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



[免責事項]

- 本資料は、業績の進捗状況の参考となる情報提供のみを目的としたものであり、投資等の最終決定は投資家ご自身の判断でなさるようお願いします。
- 本資料はできる限り細心の注意をもって作成されておりますが、その完全性についてテリロジーは責任を負うものではありません。
- また、本資料を判断材料とした投資の結果等に対する責任は負いかねますのでご了承ください。
- 本資料中の予想または計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は経済情勢等今後様々な要因によって予想または計画数値と異なる場合があります。

【お問い合わせ先】

広報宣伝・IR担当
TEL:03-5213-5533 FAX:03-5213-5532
E-mail : ir@terilogy.com